

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

アウトドアの勧め

入 野 宏 昭

(入野医院 院長)

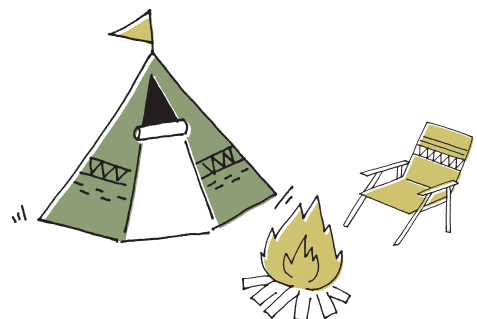
原稿の依頼を受けた2020年12月末はコロナ第三波の影響で、緊急事態宣言こそ出されていませんが、自粛ムードが漂い、窮屈な思いをされていたのではと思います。密を避けた行動ならばと、野山に出かけたいと思っている方も多いのではないのでしょうか。

今回は私の趣味の一つである「アウトドア」について語らせていただきたいと思います。

現在第二次アウトドアブームの真最中にあります。ちなみに第一次アウトドアブームは1990年から始まったとされています。バブル崩壊後に自然と向き合う人が多くなったようです。私はその時分は全く興味がありませんでしたが、そのころ子供であった人たちが大人になって第二次ブームが到来したといわれています。私はたまたま子供たちが小さい間にキャンプでもしようか、と思いつき、2017年の正月に福袋で TENT を購入したことが始まりでした。せいぜい3年程度しかたっていないのでヒヨッ子ではありますが、今ではすっかりはまっております。何が引きつけるのか？と言われれば、一言では難しいのですが、まず挙げたいのは焚火を見ながらのんびりとできることや、爽やかな朝のひと時にコーヒーを飲んでいる時が至福の喜びと言えます。しっとりとパチパチ燃える火を見なが

ら、ひたすらにぼーっとするのがいいんです。最近は焚火台なるものが販売されていて、直火では行わないため、環境にもやさしくなっているのですよ。一つ注意するならば、時々火の粉が勢いよく飛んでくるため、化繊の服や肌の露出はお勧めしません。一度おでこに直撃して火傷したこともありましたが、でも自然との対話ですから少々危険は返って刺激になるというもの。

しかし良いことだけでもありません。アウトドアの最大の敵は準備と片付けです。私の場合、2階の屋根裏に収納していますから、とても大変です。たまにふらついて梯子から落ちそうになります。キャンプ地に出向いても、コツコツ一人で設営しなくてはならないので、苦行でしかありません。いつしか子供たちも手伝ってくれる日が来ると信じて耐え忍んでいるところです。また虫嫌いの人も大変です。当然ながら夏場はハエや蚊も含めいろんな虫が出てきます。これも自然ですから受け入れなくてはならないのですが、どうしても拒絶されることが多いのも難点です。それでも焚火とコーヒーのため「がまん、がまん」です。最近ではそのような準備、片付けを一切省いたグランピングなるものがありま



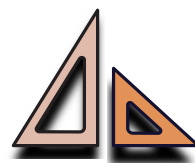
すが、苦労があつてのアウトドアと思う僕としては、グランピングは少し違う印象を受けており、使用したことはありません。また道具を揃えるのも喜びであるため、つつい無駄な買い物をするのも楽しみの一つです。

そんな中で、2019年6月より、ロゴスランドなるものが京都府城陽市に開設されました。福袋を買った縁からかアンバサダーなるものに任命され、これまでにいろいろと体験し報告書を書かせていただいております。この施設は、もともと城陽市の宿泊施設をリノベーションしたもので、屋内でテント体験ができるというもの。天候にも左右されず、虫嫌いの人も、ウエルカムの施設であります。広大な敷地内には大人も子供も魅了してくれる仕掛けが満載です。是非一度訪れてみてください。個人的にはここのBBQソースが絶品です。

昨今、自宅待機のために足腰が弱っている高齢者も増えてきており、足が上がらない、歩幅が狭くなっているなどの転倒リスクが一気に増悪しているようです。そのような事は容易に予測されるのに、なぜ注意喚起がないのであろうと心配していたところ、ようやくNHKでもロコモ予防の広報がなされるようになってきました。少しでも早く、健康的な生活に戻れる日が来ることを期待しているところではありますが、三密を避けた適度な運動は今の状況下で行っていただきたいところです。その先にはアウトドアでの外遊びも良いのではないのでしょうか。ぜひ皆さんもご検討ください。



理事会報告



◎令和3年度2月定例理事会

日時 令和3年2月15日〈月〉

午後8時～9時30分

場所 WEB会議システム (Zoom)

協議事項

1. 令和3年度コホート検討会への参画医師について

〈有田会長〉

浪速区保健福祉センターより標記検討会への医師の推薦依頼があった。

昨年同様、竹中裕昭先生より内諾を得ているとのことであった。

協議の結果、次年度も竹中裕昭先生に依頼することに決定。

2. なにわ医務室の管理医師交代について

〈有田会長〉

下記のとおり管理医師の交代があった。

旧：宮澤祐子先生

新：保津眞一郎先生

保津先生はB会員として入会頂いている。管理医師交代に伴う入会金の徴収について協議願いたい。

協議の結果、本会の入会金規定はA会員対象であることと、なにわ医務室は保険医療機関ではないので、管理医師交代に伴う入会金は徴収しないこととに決定した。

3. 令和3・4年度大阪市障がい支援区分認定審査会委員の推薦について

〈有田会長〉

大阪精神科診療所協会に依頼をしていたが見つからなかった。

協議の結果、委員は内科標榜医師でもいいとのことなので引き続き探すこととなった。

4. 予算について <木田理事>
資料のとおり、提案。

協議の結果、了承。

5. その他
(1) 東部ブロックメーリングリスト設置について <有田会長>
新型コロナウイルス感染症のワクチン接種等について情報交換ができるよう東部ブロック医師会のメーリングリストを設置したい。

協議の結果、了承。
メーリングリストの取りまとめ、費用については本会が負担することとする。
費用はノーナルプラン(200人まで)月額638円である。
また、大阪市医師会連合会のメーリングリストが設置された場合には終了する予定。

報告事項

1. 大阪市医師会連合会について
(2月15日<月>) <有田会長>
次第は次のとおり。
▷協議事項
(1) 令和3年度事業計画(案)の件
(2) 令和3年度歳入歳出予算(案)の件
(3) 令和3年度会議日程(案)の件
(4) その他
▷連絡事項
(1) 令和3年度生活ガイドブック「大阪にくらしの便利帳」の発行にかかる協力依頼の件
(2) 令和3年度大阪市保健事業委託料の件
(3) 令和3年度西成区特区結核健康診断委託料の件
(4) 大阪市がん検診事業の件(個別受診勧

奨、個人票変更点、対象者要件)

- (5) 大阪市健康増進事業の件(胃X線検査体制変更、クーポン券期限延長、骨粗しょう対策)
(6) 新型コロナウイルス感染症対策の件
(7) その他

(詳細 略)

2. 在宅連携協議会について
(1月27日<水>) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷Aケアカードシステムを近隣の他地区の多職種に広げるために(個別参加への提案)
(1) 他地区の多職種に広げるためには
(2) 他地区の参加費等について
▷コロナ禍での各団体の状況および協力体制について
▷Aケアカードシステム上へのACPのサイトの新設について
▷その他

(詳細 略)

3. 郡市区医師会感染症対策担当理事連絡協議会について
(2月10日<水>) <澤井理事>
次第は次のとおり。
▷開会
▷議事
(1) 新型コロナウイルスのワクチン接種に関して
(2) 質疑応答
▷閉会

(詳細 略)

4. 郡市区医師会医業経営担当理事連絡協議会について
(1月28日<木>) <木田理事>
次第は次のとおり。
▷開会
▷説明
(1) 「令和2年分の確定申告の留意点等に

- ついて」
(2)「令和2年分の確定申告」ならびに中
央情勢について
▷その他
▷閉会

(詳細 略)

5. 予算委員会について
(2月8日〈月〉)
協議事項「4」参照。

<木田理事>

(詳細 略)

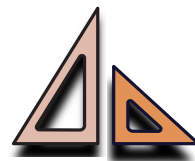
6. その他
なし。

次回理事会

令和3年2月26日〈金〉 午後8時～



理事会報告



◎令和3年度2月定例理事会

日 時 令和3年2月26日〈金〉

午後8時～9時14分

場 所 WEB 会議システム (Zoom)

協議事項

1. 大阪府医師信用組合総代の選出依頼につ
いて <有田会長>
標記のとおり、選出依頼があった。
任期は、令和3年4月1日～令和6年3月
31日
現在の総代は、徳田副会長・澤井理事で
ある。

協議の結果、前期同様、徳田副会長と
澤井理事を推薦することとなった。

2. 令和3年度事業計画について
<藤吉副会長>
資料のとおり、事業計画を作成した。

協議の結果、提案通り了承。

3. 理事会用ヘッドセットについて
<久保田副会長>
オンラインでの理事会時に使用するヘッ
ドセットを購入したい。

協議の結果、了承。

4. 2階会議室 WEB 対応のシステムの導入に
ついて <久保田副会長>
標記のとおり、システムを導入したい。

協議の結果、了承。

5. その他

(1)「新型コロナウイルスワクチン接種実施に関する調査」について

＜有田会長＞

大阪府医師会からの標記調査について、回答数が少ないので再通知することとなった。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について

(2月26日〈金〉) ＜有田会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

(1) 映画「いのちの停車場」上映会および
スペシャルトークイベントの開催の件

(2) 新型コロナウイルス感染症対策の件

(3) 3月度行事・会合日程および令和3年
度主要行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

(詳細 略)

2. 第3回医療情報委員会について

(2月18日〈月〉) ＜久保田副会長＞

次第は次のとおり。

▷協議事項

(1) 第33回医療情報に関する講演会について

(2) 諮問事項について「医師会活動および
医療現場における ICT 活用について

▷今後の予定

▷閉会

(詳細 略)

3. 郡市区医師会感染症対策担当理事連絡協議会（WEB 形式）について

(2月19日〈木〉) ＜久保田副会長＞

次第は次のとおり。

▷次第

(1) 新型コロナウイルスのワクチン接種に
関して

① 医療従事者の優先接種

② 医療機関向けアンケート（大阪市）

(2) 質疑応答

(詳細 略)

4. 認知症施策推進会議・第3回地域包括支援センター運営協議会について

(2月17日〈水〉) ＜藤吉副会長＞

各次第は次のとおり。

▷第2回浪速区認知症施策推進会議

(1) 過去5年間の認知症初期集中支援推進
事業の実績報告と課題の共有

(2) 強化型取組み報告・区内の認知症に
関する取組み報告

(3) その他

▷第3回浪速区地域包括支援センター運
営協議会

(1) ネットワーク構築に向けた連携の取
組み報告について

(2) 地域ケア会議から見てきた課題の
まとめ

(3) その他

(詳細 略)

5. 病診連携委員会について

(2月22日〈月〉) ＜入野理事＞

次第は次のとおり。

▷第94回病診連携委員会報告について

▷大阪府在宅医療体制強化事業について

▷今後のブルーカードシステムの方向に
ついて

▷ブルーカード登録数について

▷その他

(詳細 略)

6. その他

なし。

次回理事会

令和3年3月15日〈月〉 午後8時～

2 月 度

学術講演会報告

日 時 2 月 20 日(土) 午後 2 時～
演 題 「不眠・せん妄の薬物療法
～リスクマネジメントの観点から～」
講 師 大阪市立総合医療センター
精神神経科 医長

粥川 朋哉 先生

出席者数 21 名
共 催 エーザイ(株)
担 当 富永良子

令和 3 年 2 月 20 日(土)、浪速区医師会学術講演会にて、不眠・せん妄の薬物療法～リスクマネジメントの観点から～というタイトルで講演をさせていただきました。

まずは私の勤務する大阪市立総合医療センターについて紹介させていただきます。病床数は約 1000 床、医師数は約 400 名で、各診療科に専門医を有する総合病院であり、大阪市の中核病院として高度専門医療を提供しています。精神科は、50 床の病床を持つ有床の総合病院精神科で、成人対象の精神神経科と児童対象の児童青年精神科に分かれており、私自身は精神神経科に所属しています。成人対象の精神神経科は 28 床の精神科病棟を有し、保護室 2 床、個室 14 床、総室(4 人部屋) 12 床があり、休養目的の軽症患者から、重症患者や身体合併症患者、保護室での緊急措置入院など様々な患者層に対応しています。外来業務では、認知症鑑別外来や摂食障害外来などの特別外来もあり、地域からの紹介を受けています。多数の業務がある中で、他科からの依頼に対応するといったリエゾン活動には特に力を注いでおり、精神科リエゾンチーム、認知症ケアサポートチームの 2 つのチームで、精神科を除く全ての病棟患者に対応できる体制をとっています。そして、今回のテーマでもある不眠やせん妄の対応がリエゾン活動の半分以上を占めています。

入院患者だけでなく、外来診療においても、不眠やせん妄に対応する機会は少なくないと思います。そのような背景をふまえて、今回は、安全性を考慮した不眠・せん妄の薬物療法について説明させていただきました。

不眠の薬物療法についてですが、まずは睡眠薬の歴史を紹介させていただきました。古くはバルビツール酸系から BZ 系そして非 BZ 系と進化するにつれて安全性は高くなってきましたが、これらはどれも GABA 受容体作動薬であり、麻酔薬系の睡眠薬といえます。鎮静作用が強く、抗不安作用や抗うつ作用がある一方で、呼吸抑制や筋弛緩作用、健忘や依存形成などの副作用があることも事実です。半減期が長い薬剤は転倒のリスクが高くなるため、超短時間型の非 BZ 系を使用することが比較的安全だと思われます。

近年は従来の GABA 系睡眠薬とは全く異なる作用機序を持つ睡眠薬が登場し注目されていますが、安全性を考慮した場合、やはりこれらの新規作用機序を持つ睡眠薬が選択肢に挙がると思います。メラトニン受容体作動薬であるラメルテオン、オレキシン受容体拮抗薬であるスボレキサント、レンボレキサントがありますが、今回は最も新しい薬剤であるレンボレキサントについて説明させていただきました。レンボレキサントは、他の薬剤との併用禁忌がなく、また一包化や粉砕が可能であり、使いやすい薬剤といえると思います。また、海外でのゾルピデム ER との比較試験において、中途覚醒だけでなく入眠困難をも有意に改善したということで、安全かつ効果的な睡眠薬なのではないでしょうか。

次に、せん妄の薬物療法についてですが、まずはせん妄の定義、せん妄の要因やその対応を説明させていただきました。せん妄は「日内変動を伴う意識障害、意識変容、注意障害」と定義することができ、見当識障害や幻視などの症状が夜間に見られることが多いのが特徴です。夜間に激しい不穏を認めたため、精神科リエゾンコンサルトとなり、翌朝診察に行くと、「昨夜は眠れたと思います。暴れたんですか？覚えてません」などの答えが返っ

てくるとせん妄である可能性が高いというわけでは。せん妄の要因としては3つの因子、準備因子と直接因子と促進因子があります。準備因子は、高齢や認知症などがあります。これらがあるとせん妄が起こりやすく、いわゆるせん妄ハイリスク群となるため、まずこの準備因子があるかどうかをスクリーニングすることが重要です。直接因子は、全身状態の増悪、手術、薬剤があります。準備因子を持った方が直接因子にさらされると、せん妄が発症するということになります。全身状態の増悪、手術に関しては、そもそもそのために入院してくるので避けようがありませんが、薬剤に関してはある程度回避することが可能です。せん妄を惹起する薬剤としては、H2ブロッカーがあります。ガスターせん妄という言葉があるくらいで、PPIに変更することで対応可能です。ステロイドやオピオイド、抗コリン薬もせん妄を惹起しますが、これらは治療上必要な薬剤である場合が多く、可能なら漸減中止してもらうことがあります。最後に一番厄介なBZ系や非BZ系、いわゆるGABA系薬剤です。これは常用者かどうかで対応が異なってきます。非常用者ではとにかく使用しないことです。クリニカルパスの不眠時をトラゾドンなどのGABA系以外の薬剤にしておくことが重要です。常用者では逆に急な中止は離脱せん妄を起すため、やめずに継続する方がいいと思います。これはGABA受容体に作用する物質であるアルコール多飲患者に関しても同じことが言え、緊急入院などでアルコールを急に中止する場合は、GABA系薬剤を追加することで、離脱せん妄を予防することができます。促進因子は心理面や環境面などのストレスがありますが、これらは精神療法や工夫で軽減することができます。ここまでをまとめると、準備因子を持つ患者をスクリーニングし、直接因子の薬剤を避け、促進因子を軽減するということがせん妄の対応となるわけです。

せん妄の薬物療法は、抗精神病薬から新規作用機序を持つ睡眠薬にシフトしてきているといえます。せん妄はドーパミン過剰が関与し

ているといわれており、以前は抗精神病薬を中心とした薬物療法が行われていました。しかし、せん妄患者は高齢者や術後、全身状態の悪い方が多く、誤嚥や転倒のリスクがあるといえます。そのようなリスクを軽減するためにも、抗精神病薬はむやみに定期処方するのではなく、頓服として使用した方が安全であると考えられます。当院の精神科リエゾンチームでは、定期薬として、メラトニン受容体作動薬とオレキシン受容体拮抗薬を使用しており、安全かつ効果的なせん妄薬物療法を施行できていると感じています。ここ数年で、当院のせん妄薬物療法は大きく変化しました。定期処方において抗精神病薬の割合は10%未満と減少傾向にあり、ラメルテオンとスボレキサントの割合が実に約70%と増加傾向にあります。それに伴い、院内の転倒転落の発生率は減少し、また、身体拘束率も減少していました。せん妄薬物療法の変化が、患者負担の少ない転倒予防を可能にしているのかもしれない。

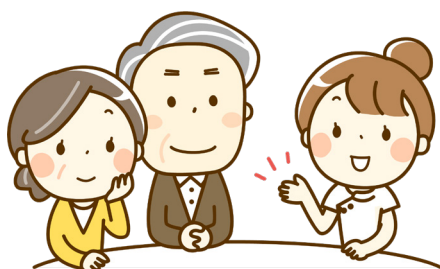
以上の様な内容で約1時間、講演させていただきました。総合病院精神科のリエゾン活動に関する報告ができる機会を与えていただき感謝しております。また、日常診療における不眠やせん妄の治療に、少しでもお役に立てればと思っております。



浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

2月の相談件数は5件でした。往診に来てくれる在宅医の希望でした。緊急でない限りは医師会にかかりつけ医申請をしています。新型コロナワクチン接種が始まろうとしておりますが、ワクチン供給体制が不十分なため接種開始が遅れてくると予想されます。今まで通りの予防をお願いします。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いします。



相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（R02.3月度）

① 医科	0件
② 歯科	0件
③ 薬局・薬剤師	2件
④ 病院 地域連携相談室	0件
⑤ 訪問看護	0件
⑥ 介護支援専門員	1件
⑦ 地域包括支援センター	1件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	1件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0件
⑫ 区民	0件
⑬ その他（ ）	0件
合 計	5件

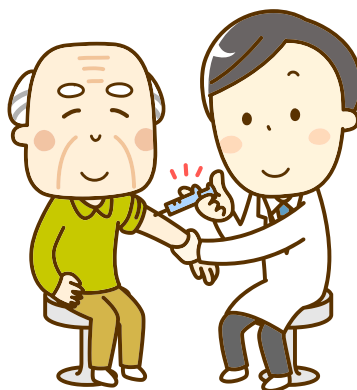
■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	3件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	2件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	1件
	④ 歯科に関して	0件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0件
	⑥ 訪問看護に関して	0件
	⑦ 医療の手続きに関して	1件
	⑧ その他	0件
② 介 護	① ケアマネに関して	0件
	② 地域包括支援センターに関して	0件
	③ 介護事業所等に関して	1件
	④ 介護の手続きに関して	0件
	⑤ その他	0件
	③ 退院支援に関して	0件
	④ 看取りに関して	0件
	⑤ その他（内容： ）	0件
	合 計	8件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル 50B

TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



浪速区医師会 活動の伝言板

令和3年4月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

- 保健福祉センター
4月22日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 川田 信哉
橋村 夏野子
眼 科 吉野 成泰
耳鼻科 中村 泰久

1歳6ヶ月児健康診査

- 保健福祉センター
4月1日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 川田 信哉

BCG接種

- 保健福祉センター
4月15日(木) 午後2時～3時30分
橋村 夏野子・有田 繁広

急病診療所出務

- 中央急病診療所
4月7日(水) 深夜22:00～30:00
山崎 雅裕
- 今里休日急病診療所
4月18日(日) 10:00～17:00
菱川 秀夫・川田 信哉



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



[本部] 大阪市中央区上本町西3-1-5 〒542-8580
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012
[南部出張所] 堺市堺区甲斐町東3-2-26 堺市医師会館 1F 〒590-0953
TEL 072-223-6081(代) FAX 072-223-5094

さまざまな事業を展開しています。

詳しくは



医 業

医療機器、医療消耗品からクリニック開業支援まで、医療に関する幅広いサポートを行っています。

- 医療用品通販カタログ「GooDs」
- 最新医療機器カタログ「ME GUIDE」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー、パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



保 険

医療とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。万一の事態に備える保険に、団体・集団扱いの割安な掛け金でご加入できます。

- 損害保険
- 生命保険



あとがき

中村 泰久

ようやく緊急事態宣言が解除され、飲食店の営業も 21 時まで延長になりました。原稿を書いている本日も 92 人の陽性者が出たのですが、本日は重症者も死者もいなかったとのことですので、ようやく落ち着いてきたなあという感じです。

巻頭言葉楽しく拝見させていただきました。入野先生はゴルフにダーツといろんな遊びをされていて、今回はキャンプですか、多趣味で尊敬します。僕も本当はキャンプやバーベキューが好きで今でも行きたいんですが、僕の家内が虫が苦手です。どうしてもテントは無理というので行けていません。最近は芸能人がおひとり様キャンプなるものを Youtube などにアップしているようで、入野先生的には邪道とは思いますがまずはグランピングに挑戦してみたいと思います。グランピングでしたら虫などを気にせず楽しめると思います。その時は入野先生にいろいろ教えていただきたいです。企業のアンバサダーになっていらっしゃるぐらいですからさぞかし知識も豊富なのでしょうから是非ともよろしくお願い致します。

今年の 3 月 12 日に浪速区医師会で長い間ご活躍されていた松山先生が閉院されました。松山先生とは僕が開業してすぐにゴルフ部に入部させていただいた時から親しくさせていただきました。何度かラウンドをご一緒させていただきましたが、先生の熟練のアプローチショットにいつも感心させられていました。もちろんドライバーショットは僕のほうが飛んでいたのですが、いつも松山先生の絶妙な寄せワンドパーをしっかりと取っていかれ僕よりいいスコアだったということが多く、ゴルフは飛距離じゃなくあがってなんぼということを松山先生には教えていただきました(未だ実践できておりませんが…)。最近は代名詞の鮎釣りもされていないようですがお散歩をよくされているそ

うで、閉院されるにあたってゴルフ部から、ささやかですがお散歩用のウォーキングシューズをプレゼントさせていただきました。僕の独断で選ばせていただきましたが気に入っていただけると嬉しいです。本当に今までお疲れ様でした。これからも益々お元気で過ごしてください。

この年になり先日は左肩、最近は右肩の五十肩の真っ只中で、大好きなゴルフもあまり出来ておりません。身体の衰えとはいえいままです。僕自身糖尿病を患っており、甘いものもお酒もなるべく控えているのに加えゴルフもできなくなっただろうと思うと、もうどうしたらいいのかわからなくなっています。今後は身体をいたわりながら細々と続けられる遊びを見つけられたらと思います。

ようやくコロナウイルスのワクチン接種が本格的に始動しようとしています。集団接種に協力していただける医療機関は浪速区 60 数施設中半分程度の 30 施設ぐらいと聞いております。接種はゴールデンウィーク明けから始まるようですが、約半年の間毎日接種が続きますのでもう少しご協力いただける施設が増えていただけますと助かります。僕は出られる日は毎日でも出務させていただこうかと思っていますが、今ご協力いただいていない医療機関様も、このコロナ禍を終息させるため浪速区で働いている医師の同志として、少しでも結構ですのでは是非ともご協力いただけますようお願い申し上げます。

目次

	ページ
巻頭言	
アウトドアの勧め 入野 宏昭	1
理事会報告(2月15日開催)	2
理事会報告(2月26日開催)	4
2月度学術報告 粥川 朋哉	6
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

【区医だより】

発行者 有田繁広
編集者 中村泰久 山本大介
印刷所 株式会社サビ